

途上国に住む、盲目の子供達を治療する



ヒカリカナタ



ヒカリ 届けます。
遥か カナタ まで。

●特集

NPO 法人ヒカリカナタ基金
設立のご報告

NPO 法人ヒカリカナタ基金設立記念報告会開催を終えて

途上国に住む、盲目の子供たちに光を届けたい。 そして自分の目で世界を見させてあげたい。

NPO 法人 ヒカリカナタ基金 理事長 竹内昌彦

私は終戦の年に生まれ戦後の混乱の中、栄養失調や感染症などのために失明し、普通の小学校から岡山の盲学校に転校しました。そして大学へ進み母校の盲学校教諭となって定年まで勤め現在にいたっています。その間、幸せな結婚をしましたが、ほどなくして授かった長男の健吾君には重い脳性小児麻痺があり、ずっと寝たきりで言葉も出ませんでした。そして健吾君は肺炎のために7歳で亡くなりました。私は自分が子供のとき失明し、いじめられ悲しい思いをすることが多かっただけに、「幸せになりたい」の一心で突き進んで来ました。しかし健吾君の死でそれが崩れ去ったとき、私は抜け殻のようになってしまいました。そんなどん底の私を立ち直らせてくれたのは家族でした。こんな私を頼り信頼し、助けようとまで思ってくれる妻や子供たちの心に触れ、家族のためにもう一度がんばる決心をしました。自分だけの幸せがどんなにちっぽけで危ういものか、それに比べて周囲の人たちに幸せを与える喜びの方がどんなにか大きく揺るがないものであるかを知ったのです。そこで盲学校を退職して自由になってから、思い切った計画を立てました。途上国の貧しい国の視覚障害者の自立を助けるための盲学校を設立することです。障害者理解を広めるための講演会に講師として呼ばれて得た謝金や、自伝本を買っていたお金で、モンゴルとキルギスに盲学校を設立することができ

ました。おかげさまで毎年たくさん目の見えない子供達がやって来ます。ところが最近、この学校に集まってくる子供達の中には手術をすれば視力が回復する目がいくつもあることに気付きました。親がその手術代をどうしても用意できないために、見えないままになっているのです。私は遠い昔、自分の目が見えなくなった時、それが一生治らないことを知らされた悲しみを思い出して泣きました。同時に、寝たきりの長男、健吾君をこの手に抱いてどうする事もできず立ちつくした悔しさを思い出して泣きました。キルギスでその子供と親達に「必ず治してあげる」と約束して帰りました。そして、それまで蓄えていたお金を送りました。しかし手術を必要とする子供は次から次へと現れます。私ひとりの力では到底間に合いません。2016年の9月にはキルギスの全盲の歌手であるグルムさんを岡山に迎えて支援金集めのためのチャリティーコンサートを開きました。同年末、思いがけずヤマト福祉財団から「小倉昌男賞」をいただきました。これらのことで得たお金を元に「ヒカリカナタ基金」を設立しました。日本人のやさしさをひとつに集めて途上国の目の不自由な子供達に届けるための団体です。おかげさまで最初の80人の子供達が手術を受けて、めでたく見えるようになりました。先だって手術を受けて、目が見えるようになったアイナジックちゃんは「大きくなったらお



医者さんになりたい。そして今度は私がみんなを助けたい」と将来の夢を語ってくれました。皆さんのやさしさに包まれて光かがやく未来を手にしたアイナジックちゃんは、きっと周りを幸せな気持ちにさせる事のできる、あたたかな人に成長するに違いありません。最高ですね！これからもできるだけ多くの子供達に希望の光をプレゼントするために、同じ思いの仲間を増やしていけたらと願っています。もし、私達ヒカリカナタ基金のお仲間になってもいいよ！と言ってくれる方がいらっしゃいましたら、ぜひとも団体の賛助会員になっていただきまして、一緒に活動の輪を広げて参りましょう。皆さんの今までの多大なるご協力に感謝しながら、さらに周囲の人たちにお声掛けいただきたく、お願い申し上げます。皆さんのあたたかい思いやりを結集して、できるだけ大きな支援を遠い国の子供達に送り届けられるよう、一致団結して頑張りましょう！

これまでに80人の子供達の目が見えるようになりました。



手術したスマヤちゃん。そのお母さんからメッセージ

「日本人の皆様、子供の目の手術のご支援ありがとうございました。お母さんにとっては子供の健康は大事で、子供がよく見えるようになりました。全く知らない日本人の皆様が我々、手術のご支援してくださってありがとうございます。皆様のこと、一生忘れません。機会がありましたらキルギスにいらしてください」

「ママの顔が見えるよ！」なんて素敵な瞬間でしょう。



3万円で見えるようになる子がいるんです。

障害の程度にもよりますが、3万円あれば手術を受けて見えるようになるケースがめずらしくありません。これからの一生が、見えるのと盲目とでは…その子にとって大きな大きな違いですよ。そしてその子と同じく、つらい気持ちを抑えてずっと寄り添って来たお母さんとお父さんの存在を忘れることはできません。愛するわが子のための手術代をどうしても用意することができなくて、どんなに悲しかったことでしょう。届けましょうヒカリ。遥かカナタまで！

皆様のあたたかいご支援、お待ちしております。



賛助会員募集中！

【年会費】個人の方（1口）3,000円
法人の方（1口）5,000円

何口からでも結構です。賛助会員の方からいただいた年会費が集まって、子供達の目の手術代となります。皆様のあたたかい思いやりをひとつに結集して、できるだけ大きな支援を遠い国の子供達に送り届けましょう！ご入会くださる方は、下記のいずれかの窓口から年会費をお振込ください。後日、メールか郵送で活動報告の広報誌をお届けします。来年以降の継続、退会は自由です。
※年会費以外に、通常の寄付も随時受け付けておりますので、同じく下記窓口からよろしく願います。

銀行 金融機関

■ ゆうちょ銀行もしくは郵便局からの場合

ゆうちょ銀行

振替口座

口座記号番号：01380-4-106091

口座名義：特定非営利活動法人 ヒカリカナタ基金

■ 他の銀行、金融機関からの場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード9900）

店名：一三九（イチサンキユウ）（店番139）

預金種目：当座

口座番号：0106091

口座名義：特定非営利活動法人 ヒカリカナタ基金

インターネット

■ 「ヒカリカナタ基金」ホームページから。 www.hikarikanata.com



NPO法人
ヒカリカナタ基金

◎事務局

〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町12-11

Tel：086-242-3535 / Fax：086-242-3311

E-Mail：npo@hikarikanata.com

www.hikarikanata.com

ヒカリカナタ基金



竹内昌彦「ヒカリカナタ基金」
www.facebook.com/hikarikanatakikin



竹内昌彦
twitter.com/masahikotakebot

<次号予告>次なる支援国、ネパールを訪問。新たなる小児眼科医療プロジェクト始動。